



公益財団法人
日本フライングフットボール協会

競技実施における感染対策集

第1版 2020.10

- はじめに
- 感染対策集

この感染対策集は、フラッグフットボール実施時における感染対策について、各地区で検討したり、実施したりしたものをまとめたものです。

適宜検証、改定を行いながら、効果的な感染対策を整えることを目的にしたもので、各地区の対応も適宜変更となりますので、参考資料としてご活用いただければ幸いです。

なお、大会運営に関する事項については、フラッグフットボール大会再開に向けたガイドラインを参照してください。（<https://japanflag.org/news/297>）

競技前

1 開会式および閉会式における対策

(1) 式を実施しない。(南関東地区：小学生)

2 セレモニーにおける対策

(1) ソーシャルディスタンスを保ち、握手はしない。(南関東地区：小学生)

(2) ハドル時の飛沫対策について、審判が確認を行う。(南関東地区：小学生)

競技中

1 飛沫対策

(1) 入場から退場まで、マスクの着用は義務としない。(南関東地区：小学生)

※保管方法がないことや、取り付け、取り外し時の感染リスクを考慮

(2) 競技中のマスクの着用を義務とする。(関西地区)

(3) サイドラインで大声で応援はしない。(南関東地区：小学生)

(4) ハドル時にソーシャルディスタンスを保つ。(南関東地区：小学生)

(5) ハドル時に発言する選手は帽子またはユニフォームで口元を覆う。(南関東地区：小学生)

2 感染対策

(1) 競技中のグローブの装着を必須とする。(関西地区)

(2) ボール、グローブは適宜消毒する。(関西地区)

審判

1 審判着の対策

- (1) 審判着（共用）の着用を義務としない。出場チームのユニフォームと異なる色の上着を着用する。
（南関東地区：小学生）

2 ホイッスルの対策

- (1) 電子ホイッスルを使用する。ホイッスルは1チームあたり2個持参する。（南関東地区：小学生）

フィールド

1 ベンチ設置における対策

- (1) ベンチの奥行が狭く、背後のベンチとの距離が保てないグラウンドでは、対戦チームが横並びでベンチを使用する。通常のベンチエリア規定は適用せず、エンドゾーンのサイドラインも使用しソーシャルディスタンスを確保する。（南関東地区：小学生）

2 コーチの対策

- (1) ベンチエリアへ入場できるコーチは5人までとする。（南関東地区：小学生）
- (2) コーチはマスクを常に着用する。（南関東地区：小学生）

消毒

1 アルコール消毒

- (1) 各チームのベンチサイドに机を置き、アルコール消毒用品を設置し、サイドラインに戻るごとに消毒を実施する。(関西地区)
- (2) 掲示板・得点版の横に、アルコール消毒用品を設置する。(関西地区)
- (3) 使用後のフラッグはアルコール消毒する。(関西地区)

その他

1 表示

- (1) 誤飲を防ぐため、水分補給ボトルにナンバープレートをつける。(関西地区)

2 観戦者

- (1) 拍手での応援をお願いします。(南関東地区：小学生)